

J P C O A R
オープンアクセスリポジトリ推進協会

2020 年度オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）活動計画

2020 年 3 月 17 日
総 会 承 認

1. オープンサイエンスの推進に寄与するため、研究データの公開、流通に関する先導的な取組みを行う。
担当：研究データ作業部会
 - (1) 新 JAIRO Cloud において研究データ公開を促進する活動を検討・実施する。
(1.1、1.2) ^注
 - ★ (2) 研究データの公開、流通促進を図るため、データベースレスキュープロジェクトを実施する。(1.2)
 - ★ (3) 大学 ICT 推進協議会研究データマネジメント部会（AXIES-RDM 部会）と連携して、RDM 事例形成プロジェクト等の研究データポリシー雛形作成に向けた活動を実施する。(1.2、1.3)
 - ★ (4) 若手研究者向けの研究データ管理に関する教材を作成する。(1.3)

2. オープンアクセスを推進する学術情報流通の基盤を整備し、コンテンツの流通、活用を促進する。
担当：コンテンツ流通促進作業部会
 - ★ (1) コンテンツ収集に関する調査結果にもとづき、ワークフローを考慮したオープンアクセスインフラ機能を検討する。(2.1)(2.2)(2.6)
 - ★ (2) 著作権ポリシーのデータメンテナンスを検討し、オープンアクセスのインフラを整備する。(2.2)(2.1)(2.6)
 - (3) JPCOAR スキーマの普及・維持管理を継続して実施するとともに、永続識別子の活用やライセンスの付与の促進活動を行う。(2.3)(2.4)(2.5)
 - ★ (4) 新 JAIRO Cloud への移行に伴う参加機関の利用のサポートをする。(2.6)
 - (5) データを用いてオープンアクセスの状況や識別子の普及状況等を調査・分析する。(2.1)(2.4)

3. オープンアクセスリポジトリを支えるコミュニティとしての機能を強化する。
担当：コミュニティ強化・支援作業部会
 - ★ (1) 協会 HP、Facebook、twitter、情報誌 CoCOAR での情報提供及び情報発信を行う。(3.2)
 - ★ (2) JAIRO Cloud コミュニティのサポートを継続するとともに、現有のウェブサイトやコミュニティツールのあり方を整理し、新 JAIRO Cloud への移行に伴う次年度以降のサイト運営計画を作成する。(3.1、3.3)

- ★ (3) JPCOAR の活動成果普及、地域単位でのコミュニティ活性化をはかるため、図書館総合展のフォーラム開催及び地域でのイベントプログラムを実施する。(3.1、3.4、3.5、4.2)
 - (4) 会員機関のグッドプラクティスを情報誌やイベントで取り上げて情報共有を図る。(3.5)
4. オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材育成を行う。
- 担当：人材育成作業部会
- (1) 研修の編成、内容について継続的に検討・評価を行う。(4.1)
 - (2) 基礎研修：オープンアクセス（機関リポジトリ運営を含む）に関する基礎的な研修を実施する。(4.2)
- ★ (3) 専門研修：JAIRO Cloud 新バージョンの紹介・操作説明会等を実施する。(4.2)
5. 協会の活動基盤を強化し、JPCOAR のブランド力を高める。
- 担当：運営委員会
- ★ (1) 作業部会間、運営委員会と各作業部会との連絡を密にし、協会の情報収集力、企画力の強化をはかる。
 - ★ (2) 事務局員の確保を図り、継続的な事務局体制を整備する。(5.1)
 - (3) 作業部会員の横断的な活動を組織化し、海外の動向調査等、若手、中堅職員のレベルアップを図り、人的活動基盤を強化する。(4.2、4.3)
 - (4) 協会の活動及びその成果を広く発信し、国内外での認知度を向上させる。(3.2、5.2)
 - (5) COAR Annual Meeting 及び COAR Asia OA Meeting 等に会員を派遣し、JPCOAR のプレゼンスを高める。(4.3、5.2、5.4)
 - (6) 国大図協オープンアクセス委員会、これからの学術情報システム構築検討委員会、大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）及び学術情報流通推進委員会（SPARC Japan）との連携体制を強化し、文部科学省、内閣府等の政策の動き及び COAR 等の動きへの適切な対応を行う。(5.3、5.4)

注：「JPCOAR オープンアクセスリポジトリ戦略 2019～2021 年度」活動計画の項番を示す。以下同じ。

★：2020 年度活動計画の重点項目。